

自分らしく生きる営みを、“わたし”でない他人が、「不幸にする存在」だからと、いのちの線引きをした。“わたし”の名前は、マスコミでも活字にならなかった。まさに存在すら社会から消された。この事件から5か月、風化させるわけにはいかない。

医療的ケアが必要だから、重度な障害があるから、他の人に依存して生活するから「自分らしく生きること」は、いけないことなのか、しあわせを求める権利がある日々の暮らしには、何が足りないのか、必要なのか、おおいに語り合しましょう。

相模原殺傷事件と 医療的ケアを考える

事件が起こる前に 「すでに」起こっていたこと

2016.12.18 sun

13:30 ~ 17:00 (開場 13:00)

会場/キャンパスプラザ 4階 第4講義室

参加費/会員 1000円・非会員 1500円

(シンポ申込み時に入会されると会員扱いになります)

締切り/2016年12月10日(木)

※定員になり次第、締切ります。

PROGRAM

第1部

講演●「弱さを共有する」

児玉真美さん(フリーライター)

「いま何が起きているか」を事実によって描きつつ、功利主義と優生思想の包囲網が、日本にも迫っているという認識の共有と、そこに相模原事件を位置づけることで、弱い部分を共有し、つながること・そこからつくる価値が大事なことを、重症児者とその関係者の側から問題提起。

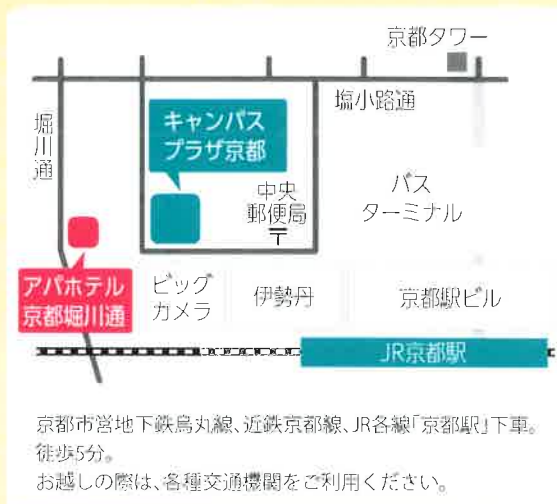
討論●コーディネーター/田村和宏

(NPO 法人医療的ケアネット理事・立命館大学准教授)

第2部

「第3号研修普及連絡会議」

アンケート調査以降の組織と現在の3号の課題の確認・いまどうなっているのか、どうすべきなのか? 第1部で示された課題を実践していくための3号研修: パーソナル・アシストの視点から議論します。



交流会

- ・アパホテル京都堀川通 1階
Gin yuba KYOTO 18:00 ~ 20:00
- ・参加費 5000円 (要予約)

シンポジウム 2 大震災時の 医療的ケア児者の 支援と今後の課題



神戸、東北、
そして熊本から学ぶ

つい先日、まったく予測もされていない鳥取でも震災が起きた。南海トラフ地震が必至と言われ、日本のどこに起きても不思議ではない大震災、大災害。東日本大震災、熊本地震のそれぞれの地で活躍された田中総一郎先生、島津智之先生をお迎えして、阪神・淡路大震災を経験し、神戸で「災害時の要支援者に対する支援セミナー」を継続的に開催している高田哲先生を座長に今後の課題を討論します。

2017.1.29 sun

13:30 ~ 17:00 (開場 13:00)

会場/京都アスニー 3階第2研修室

参加費/会員 1000円・非会員 1500円

(シンポ申込み時に入会されると会員扱いになります)

締切り/2017年1月20日(金)

※定員になり次第、締切ります。



高田 哲氏

(NPO 医療的ケアネット理事・神戸大学教授)



田中総一郎氏

(同 NPO 理事・前東北大学小児科准教授、
あおぞら診療所ほっこり仙台)

島津智之氏

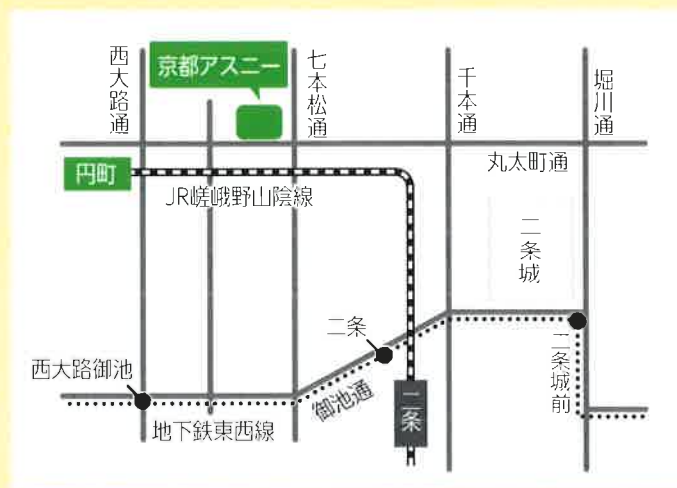
(独立行政法人熊本再春荘病院小児科・
認定 NPO 法人 NEXTEP 理事長)



主催/NPO法人 医療的ケアネット

〒601-8382 京都市南区吉祥院石原上川原町21

TEL.075-693-6604 FAX.075-693-6605



申込書送信先 FAX.075-693-6605

mcnet-info@mcnet.or.jp

NPO法人医療的ケアネット シンポジウム ● 参加申込書

※全てご記入ください

申込者 の氏名 (フリガナ)		申込者 の職種	所属団体 施設など
申込者の 連絡先 (住所) 〒 _____ (TEL) _____ (FAX) _____			会員 ・ 非会員 ※どちらかに○印を お願いします
2016年12月18日(日) 交流会(会費5,000円)		参加 ・ 不参加 ※どちらかに○印をお願いします	

※FAXとE-mailのみでの申込受付とします。 ※記入いただいた個人情報は、セミナーの案内など「医療的ケア」に関する情報提供のみに活用します。